

単元名 3つの かずの けいさん

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 3つの数をたしたり、ひいたりする計算の意味を知り、1つの式に表して計算することができる。  
 (2) 3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表して考えることができる。  
 (3) 3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表すことのよさを知り、進んで用いようとする。

## 標準的な展開例

01040205\_001

【準備等】数図ブロック

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 3つの数の加法をする。[p. 88・p. 89]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○列車にねずみが乗っている絵の場面について話し合う。</li> <li>○場面に合った式を考える。</li> <li>○単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★3つのかずのけいさんをしていこう。</li> <li>○3つの数のたし算の仕方についてまとめる。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各場面ごとの様子を話し合わせ、3つの数の計算の学習に興味をもたせる。</li> <li>・2つの式に表している児童の考え方も認め、数図ブロックの操作でそれを1つの式にまとめると簡単に表せることを感じられるようにしたい。</li> <li>・最初に計算する箇所に線を引かせ、その部分の和をメモさせると分かりやすい。</li> </ul> <p>【評】3つの数量の関係を1つの式に表す活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p>
<p>2 3つの数の減法をする。[p. 90]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★3つのかずのひきさんをしよう。</li> <li>○3つの数のひき算を式に表す。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数図ブロックの操作に十分時間を取り、減・減の様子を実感させる。</li> <li>・2度減少したことと2つの「－」が同じ操作であると分かるように板書を工夫する。</li> </ul> <p>【評】減法も加法と同じように1つの式に表し計算する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>3～4 3つの数の減・加、加・減の計算をする。[p91・p. 92]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★へってふえるときやふえてへるとき、いくつになるかをかんがえよう。</li> <li>○問題の場面を数図ブロックで操作する。</li> <li>○<math>5 - 2 + 4</math>の計算に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> <li>○文章問題に取り組む。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの数の減・加、加・減の計算も、左から順に計算すればよいことをつかませる。</li> <li>・計算は左から順にすればよいことに気付かせる。</li> <li>・「降りた」と「乗った」が混ざっているところに着目させる。</li> <li>・「合わせる」と「降りる」が混ざっているところに着目させる。</li> </ul> <p>【評】立式し、計算する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

### 【 備 考 】

本単元は、3つの数の加法や減法を1つの式に表し、計算することを学習する。ここでは、数量の状況を式に表したり、式の意味を理解したりすることを重点に単元を構想する。また、既習の計算を暗算ですることが前提となるので、単元の初めには、必要に応じて加法や減法の復習を組み入れるとよい。